

アジア政経学会 2013年度 第6回理事会 議事録

1. 日時 2013年9月11日(日) 17:00~19:00
2. 会場 立教大学 12号館地下会議室
3. 理事・監事総数 25名(理事23名、監事2名)
4. 出席者 理事 15名(磯崎、大橋、加茂、川島、小嶋、高橋、高原、竹中、田村、永井、中溝、三重野、丸川、山田、山本)
監事 2名(佐藤、滝口)
5. 議長 竹中理事長

7. 議事

(ア) 定刻 17:00 に竹中千春理事長が議長席に着き、開会を宣言、総務担当・川島真理事から本日の欠席者が8名にて、定足数12名以上を満たしているため、本理事会は有効に成立する旨の報告があった。引き続き、本理事会の議事録書名人として、丸川氏、川島氏の2名を指名し、両氏はこれを受諾した。その後、議案の審議に入った。

(イ) 前回(2013年7月28日)の理事会議事録の確認をおこなった。

◆ 議案1 法人関連業務について

[竹中・川島]

川島総務担当理事より、今回の議案2を以て今期の体制が整うので、今後法人関連の手続きなどをおこなうことが報告され、承認された。

◆ 議案2 今期の学会方針と業務担当

[竹中]

竹中理事長より、ニューズレターに掲載される体制の文案が紹介された。また、中溝和弥理事に正式に理事会に加わっていただくこと、その役割は法人・学会企画(法人関連の規約の整備)などであることが示され、承認された。

法人関連業務は、金子理事に統括をお願いし、澤田理事には財務関係を中心に支援していただくこと、さらにそれを踏まえて執行部および理事会全体で業務を展開していくという方針が確認された。

また、財務担当理事の補佐として江藤名保子会員が推薦され、承認された。

◆ 議案3 東日本大会について

[山田]

丸川副理事長より、「2013年アジア政経学会東日本大会プログラム(案)」に基づいて東日本大会の準備状況が報告された。大枠は固まっているが、司会や討論者などが未定の分科会など、目下の検討課題については引き続き検討することとなった。

また、山田理事より、「2013年アジア政経学会東日本大会準備状況」に基づいて準備状況が報告された。共通論題については「中国の外交と近隣諸国」と題して行われるが、その内容を『アジア研究』に掲載することを視野に入れ、録音することが報告された。また、理事会は午後12:30-14:00に実施予定である。

なお、総務担当理事から大会担当者に対して弁当を発注すること、経費については総務経

費から支払うことについても確認された。

◆ 議案4 西日本大会について

[永井]

永井理事より、「2013年アジア政経学会西日本大会準備状況(その4)」に基づいて報告がなされ、開催校企画(テッサ・モーリス＝スズキ教授講演)のスケジュール、司会・討論者の選定について審議された。司会は開催校より選定していただくこととし、討論者には陳天璽会員が推薦された。

◆ 議案5 来年度の大会について

[竹中]

竹中理事長より、来年度の全国大会については慶應大学湘南藤沢キャンパスで開催することとおよび加茂理事に開催校の責任者を引き受けていただくことが提案され、承認された。加茂理事から、日程候補として2014年6月7日、8日の週末が挙げられた。なお、都心から遠いという地理的条件により、評議員会の開催が危ぶまれる場合には、別途開催方法を考慮することとなった。

また、竹中理事長から東日本大会については防衛大学校にて開催すること、武田会員に開催校責任者をお引き受けいただくこと、日程の候補としては2014年10月25日前後であることが報告され、承認された。

このほか、他の学会とのコラボ開催についても模索していくことが提案された。

◆ 議案6 『アジア研究』の編集状況について

[山本・三重野]

三重野理事より、書評関連については松田理事に引き継ぐことになっていること、また書評委員の体制を固めていること、そして今体制では書評委員自身が書評を1本必ず執筆し、その上で他の会員に書評執筆の依頼をおこなうという新しい方針が報告された。なお、目下二期分のストックがあるが、それについては三重野理事が引き続き担当する。

山本理事より、資料2に基づいて、編集状況が報告された。目下査読が終わっていない論文があるので、前任者と協力して対応することとなった。また、編集委員会は立ち上げの最中であること(編集副委員長は加茂理事)、今後は刊行年月日の通常化をはかるべく、特集企画を充実させた特別号を制作すること、また60周年については合併号を制作すること、査読と返却期間を短縮することが提案され、承認された。竹中理事長より、刊行年月日通常化のため、まずは第1号を出すことが求められた。

山本理事より、投稿規定において数式に関するスペース計算、また著作権のクリアされていない絵などの使用について問題が残されているため、今後検討していくことが確認された。

山本理事より、丸川副理事長から提案のあったJ-STAGEのことが正式に決定した場合、投稿規定改定の可能性があることが指摘された。

◆ 議案7 ニュースレターの編集状況について

[小嶋]

小嶋理事より、9月17日が第40号の納品予定日であると報告された。同号には学会としての新しい体制と東日本大会についての情報などが掲載されている。会員の手元には9月20日過ぎに着

くことになる。

◆ 議案 8 ホームページの更新などについて

[丸川・梶谷]

丸川副理事長より、『アジア研究』を J-STAGE というデータベースに載せることについて、科学技術振興機構と協議をおこない、申込書を提出したことが報告された。今後審査を受け、それが通過してから正式な申請をおこない、研修などをおこなって、利用することができるようになる。これが実現すると活字以外の媒体の掲載、投稿審査システムの利用などといった利便性が考えられる。

また田村理事より、前回理事会で話題となった HP の英文ページの代金については紀伊國屋方面からの返事がないことが報告され、今後契約や業務の状況を検討する必要があると説明された。

◆ 議案 9 定例研究会について

[磯崎]

磯崎理事より、定例研究会について運営委員会を発足させることが提案され、承認された。理事長、東西の研究企画担当理事、研究会担当理事の 5 名がその委員会を構成する。また定例研究会を本年 12 月と来年 2 月の理事会開催日にあわせて実施すること、このほかに研究会が設定される場合には、別途相談して決定することが提案され、承認された。定例研究会の企画と開催に関わる諸問題、たとえば交通費補助などについては、定例研究会担当者、また運営委員会で審議していくことが確認された。

◆ 議案 10 複数年にわたる会費滞納者について

[小嶋]

小嶋理事より、本件は 12 月理事会で扱うことが報告された。

◆ 議案 11 入・退会者について

[川島]

川島理事より、回覧資料に基づいて、入会申請者 4 名、復会申請者なし、再入会申請者なし、休会者 1 名、退会者 4 名、逝去なし、優待申請者 2 名について報告され、承認された。

〈入会者〉許珩、山城奈菜恵、李恵美、亀山恵理子

〈復会者〉なし

〈再入会者〉なし

〈休会者〉藪下ネーナパー

〈退会者〉森寛史、小野沢純、本庄比佐子

〈逝去者〉なし

〈優待申請者〉山田勅之、土屋貴裕

◆ 議案 12 その他

(1) 山本理事より、パキスタンの図書館から『アジア研究』の送付依頼があったことが、そのメールとともに報告された。次回理事会までに、南アジア研究の理事の間で検討すること、また他の寄贈先リストとともに検討すること、英文ホームページから E-JOURNAL を利用する際の利便性、

また送付の経費などについて検討することとなった。

(2) 竹中理事長より、理事会については集団合議が原則であるが、Skype などでの参加を以て出席と判断することが提案され、承認された。

以 上


竹中議長が午後 18 時 43 分、閉会を宣言して審議を終了した。

平成 25 年 9 月 11 日
一般財団法人アジア政経学会


議長

竹中千春 

議事録署名人（理事）

川崎 真 

議事録署名人（理事）

丸川知雄 

議事録署名人（監事）

佐藤 幸人 

議事録署名人（監事）

滝口 太郎 